

すわみつえ通信

No.191 2021年9月27日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしのちとくらしを守る市政に

9月議会閉会となる

鴻巣市議会9月定例会は9月24日(金)に閉会しました。多くの情報提供と、ご支援をいただいたことに感謝申し上げます。執行部提案の2020年度一般会計決算認定・各特別会計決算認定、2021年度一般会計補正予算等の全部で28議案と議員提案の5議案を審議しました。

日本共産党は執行部提案議案28件の内、19件に賛成をし、9件に反対をしました。議員提案議案5件の内、「米価暴落に対する緊急対策を求める意見書」の1件を提案し賛成討論を行い、4件に賛成をしました。

2020年度一般会計 決算を認定せず

2020年度は新型コロナウイルス感染症のパンデミックから市民のいのち暮らしをどう守るかが問われました。国の地方創生臨時交付金等を活用しての、特別定額給付金支給や市内事業者の経営を支える事業、水道基本料金減免など、暮らしを支える事業の評価をします。一方で「コウノトリ野生復帰センター」「道の駅」は急ぐ事業ではないという市民の声が届かない市政であることを指摘しました。教育分野では、2020年度に新たに開始した事業「教師のストレス

チェック」があります。対象者578人の内、79人の先生が受けていませんでした。教師の多忙化は社会問題となっています。子どもたち一人1台パソコン貸与のICT教育で、現場の先生方はさらに忙しくなっています。このような中、「小・中学校通学区域審議会」で、笠原小学校廃校に伴う通学区域が議論されました。「適正規模適正配置」の名のもとで、学校統廃合につながり地域・町壊しとなるものです。コロナ禍で少人数・小規模校の良さが浮き彫りになりました。子どもの未来を第一に考える市政にすべきです。

笠原放課後児童クラブ までなくすのか

笠原放課後児童クラブを閉室にする条例改定の議案に反対討論をしました。6月26日(土)に笠原小学校体育館で行われた「笠原地域の就学手続き等に関する説明会」の議事録には「放課後児童クラブの送迎を祖父母がしているケースもあるのに笠原放課後児童クラブを残してほしい」という声がありました。こういった保護者の切実な意見が届かない議案です。小学校がなくなり、放課後児童クラブもなくなると子どもの声が響かない地域となることを指摘しました。

議会運営に課題を残す

議員の執行部に対する質問に対して、他の議員が「文言が不適切ではないか」と議事をストップさせ、議事が数時間空転することが相次いだ9月議会では、市民のための議論が伯仲して会議が延長することはあります。

議員は議会で誰からも拘束されずに発言できます。議会は言論の府であり、執行機関を監視するため、市民の立場で自由な発言が保障されています。

総選挙勝利キャラバン宣伝

9月25日(土) 鴻巣駅⇒桶川駅⇒上尾駅で塩川てつや衆議院議員と伊藤岳参議院議員が政権交代を目指す訴えをしました。



鴻巣駅

名月や日本列島元氣だせ!

俳句コーナー

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

自公政権を倒すという大局に立って、野党が結束を テレビ朝日番組 日本共産党志位委員長が発言

日本共産党の志位和夫委員長は9月24日、テレビ朝日の「羽鳥慎一モーニングショー」に他の野党党首らとともに出演し、総選挙に向けて野党共闘の推進やコロナ対応、原発・エネルギー政策、経済政策と消費税減税について語りました。立憲民主党の江田憲司代表代行、維新の会の片山虎之助共同代表、国民民主党の玉木雄一郎代表が出演しました。

志位氏は、総選挙に向けた野党共闘について、日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組の野党4党と市民連合の合意文書について「大変画期的な合意」「安倍・菅政治のチェンジとなる政策」と強調。「あとは、この政策を実行する政権をどうやってつくっていくかだ」と述べました。志位氏は「政権選択の選挙でもある総選挙ですから、選挙協力をする各党がどういう政権をつくるのか。このビジョンを示しませんと、国民に責任のある態度とはいえませんから、ぜひ近々に話し合って、結論を得たい」と述べました。江田氏は「立憲民主党に投票したら、どういう政権の枠組みができるのかを明確にしないと無責任だと思います。これから党首同士、幹事長同士で話し合ってください」と述べました。

コメンテーターの玉川徹氏が、野党が総選挙で与党に勝つためには、「小異を捨てて大同につけるかだ」と述べたのに対し志位氏は、日米安保条約の廃棄など不一致点は共闘に持ち込まないと述べ、「“大異”があっても横に置いて大同につく。みんなで力を合わせて、いまの自公政権を倒すという大局に立った行動が必要だ」と強調しました。

志位氏は、「国民民主党も含めて協力してやっていきたいというのが私たちの気持ちです。政党だから違いがあるのは当たり前です。違いはそれぞれ主張しながら、やっぱり一致点をよく見極めて、団結していくという立場が野党は大事だ」と語りました。

コメンテーターの長嶋一茂氏は「野党の方たちに頑張っていただけなら国民への信頼回復は起きると思いますし、いま体たらくな部分が自民党にあります。チャンスではないか」と述べました。



「羽鳥慎一モーニングショー」で発言する志位和夫委員長（テレビ朝日から）

しんぶん赤旗 9月25日付

あいさつした日本共産党の志位委員長は、「コメの大暴落は政府の無為無策によって引き起こされた『人災』です」と告発し、過剰在庫を政府が買い上げて、市場から隔離して暴落を止めること、買い上げたコメをコロナ危機で生活に困窮する人々への支援にまわすべきだと求めました。

野党5党が一致して要求 総選挙の重要争点に



しんぶん赤旗 9月25日付
コロナ禍による需要減少・在庫増大で米価が大暴落するなか、政府が過剰在庫を買い上げ、困窮者支援に回すよう求める米危機打開中央行動が9月24日、農林水産省前で行われました。

政府は過剰米買い上げよ コメ危機打開中央行動

北海道と東北6県のJA中央会会長や全国知事会が過剰在庫の買い上げを求めていること、ふれ、「『コメ危機打開を』の一点で党派を超えて力を合わせよう」と訴えました。

志位氏は、自民党農政が、歯止めのない輸入を続け、家族経営を粗末に扱い価格保障、所得補償を切り下げて農政を破壊してきたと告発しました。

野党4党が共通政策で「農林水産業への支援を強め、食料安全保障を確保する」と明記したこと、市民と野党の共闘を勝利させて、政権交代を実現し、農林水産業を再生する新しい政権をつくらうではありませんか」と呼びかけました。

集会後、記者団の取材に応じた志位氏は、集会に参加・メッセージをよせた立憲民主党、国民民主党、れいわ新選組、社会民主党の代表も、そろって「米大暴落を止めるために、政府が過剰在庫を買い上げよ」という主張で一致したことを指摘。「米の危機打開の問題は、農業従事者のみならず、日本国民にとっても大問題です。総選挙の重要な争点の一つとして訴えていきたい。野党共闘も強めていきたい」と強調しました。